

第10回 エコチル調査 シンポジウム



エコチル調査とは

環境中の化学物質が、子どもの健康にどのように影響するのかを明らかにし、子どもたちが安心して健やかに育つ環境をつくるために実施している調査。全国約10万組の親子が調査に参加しています。

エコチル調査 **検索** <http://www.env.go.jp/chemi/ceh/>



なーちゃん氏

エコチル調査が始まって今年で10年を迎えます。そもそもなぜ、この調査がスタートしたのか？調査によってどのようなことがわかりはじめたのか？今後のエコチル調査の結果で私たちの生活がどのように変わっていくのか？今回は二児のママであり、YouTubeで活躍されている**なーちゃんさん**を招いて、ともに考えていきましょう。まだエコチル調査について御存じない方も、既に知っている方も、ぜひ御視聴ください。

■司会 田村 あゆち氏 (フリーアナウンサー)

開会挨拶 **ビデオメッセージ**

堀内 詔子 環境副大臣

第1部 講演 13:30~14:05

「エコチル調査10年のあゆみ」

上島 通浩氏 エコチル調査運営委員会委員長

山縣 然太朗氏 エコチル調査戦略広報委員会委員長

福島ユニットセンター 橋本 浩一氏 エコチル調査福島ユニットセンター長
(サテライト出演) エコチル調査参加者の方

第2部 成果紹介とパネルディスカッション 14:15~15:30

「エコチル調査の結果で、私たちの生活はどう変わるの?」

■研究成果の読み解き方:

山崎 新氏 国立環境研究所エコチル調査コアセンター長

■社会が変わる研究成果:

中山 祥嗣氏 国立環境研究所エコチル調査コアセンター 次長

■パネルディスカッション:

コーディネーター

山縣 然太朗氏 エコチル調査戦略広報委員会委員長

パネリスト(五十音順)

大矢 幸弘氏 エコチル調査メディカルサポートセンター長

上島 通浩氏 エコチル調査運営委員会委員長

中山 祥嗣氏 国立環境研究所エコチル調査コアセンター 次長

なーちゃん氏 YouTube専門家ママ

山崎 新氏 国立環境研究所エコチル調査コアセンター長

閉会挨拶

田中 桜 環境省大臣官房環境保健部環境安全課環境リスク評価室長

日時

2021年**2月21日** (日)

13:30~15:30(予定)

●オンライン開催(ライブ配信)

事前申込不要・無料

YouTube

<https://youtu.be/uVJ7uGE9xKE>



視聴者アンケート

<https://env-ecochil.com>



アンケート受付期間は

2月21日(日)シンポジウム当日~2月28日(日)12:00まで

お問合せ

第10回 エコチル調査シンポジウム事務局

(株式会社オーエムシー内 担当:朱雀/近藤)

TEL:03-5362-0117

MAIL:ecochil_sympo@omc.co.jp

※本シンポジウムは、環境省からの業務委託により株式会社オーエムシーが事務局を務めております。

なーちゃん氏 YouTube専門家ママ

パネリスト(ゲスト)



慶應義塾大学経済学部卒業後、2014年にYouTubeに「なーちゃんねる」を開設。長男と動画を投稿し、チャンネル登録者数200万人を超える子供向けチャンネルへと成長。自然遊び、恐竜、動物、虫取り、伝統的な漁など、子供の知的好奇心を満たす動画を制作。2020年より、環境や生き物をテーマとしたオリジナル知育アニメ「サメニンジャー」を開始。YouTubeやキャラクターを通じた子供とのコミュニケーションや教育について研究中です。

山縣 然太朗氏

エコチル調査甲信ユニットセンター長
参加者コミュニケーション専門委員会委員長、戦略広報委員会委員長
山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座教授

コーディネーター

専門は公衆衛生学、疫学、人類遺伝学。社会医学系専門医・指導医。地域で33年間に及ぶ出生コホート研究、18年間継続中の高齢者コホート研究を実施中。研究ガバナンス、先端科学と社会との接点も研究テーマ。山梨医科大学卒業。米国カリフォルニア大学アーバイン校(UCI)小児科学講座留学などを経て現職。成育基本法の成育医療等協議会副座長など国の各種委員。「研究は住民に始まり住民に終わる」がモットー。

上島 通浩氏

エコチル調査愛知ユニットセンター長
エコチル調査運営委員会委員長
名古屋市立大学大学院医学研究科環境労働衛生学教授

講演者/パネリスト

専門は衛生学。化学物質による健康リスクの解明をテーマに研究を行っている。エコチル調査では愛知ユニットセンター長、エコチル調査運営委員会委員長、国際連携調査委員会委員を、また、他に環境省中央環境審議会専門委員等も務める。東北大学医学部を卒業後、米国カリフォルニア大学バークレー校自然資源学部環境科学政策管理学講座客員研究員、名古屋大学大学院医学研究科環境労働衛生学准教授などを経て、現職。

橋本 浩一氏

エコチル調査福島ユニットセンター センター長・特任教授

講演者

エコチル調査福島ユニットセンターのセンター長。東日本震災後、15ユニットセンター中、最多の約13000人が参加している福島県全県下でのエコチル調査に携わっている。小児科専門医として「未来を創る子ども達、家族を医学を通して支える」をモットーに日々の診療、学生教育、研究にあたっている。福島県立医科大学大学院医学研究科卒業、福島県内基幹病院小児科、米国バンダービルト大学(留学)などを経て、現職。コロナ禍が終息したら大きな声で大人数で「第九」を歌うのが目標。

山崎 新氏

国立環境研究所エコチル調査コアセンター長

講演者/パネリスト

エコチル調査全体の運営を行うコアセンター長。エコチル調査の研究計画の調整や実施上の様々な課題の解決に日々尽力している。瞑想は欠かせない。長く大気汚染の疫学研究にたずさわる。京都大学工学部衛生工学科卒業。京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻准教授、国立環境研究所環境疫学研究室長、同環境リスク・健康研究センター副センター長を経て、現職。

中山 祥嗣氏

国立環境研究所エコチル調査コアセンター 次長

講演者/パネリスト

岡山大学医学部、大学院医学研究科卒業。専門は公衆衛生、環境保健、曝露科学。社会医学系専門医・指導医。2005年U.S. Environmental Protection Agency: EPAの招聘を受け、以降6年間、EPAで新規汚染物質の曝露評価およびリスク管理に携わる。2011年より国立環境研究所。エコチル調査を環境医学の面から支えるたかわら、曝露科学に関してEPAやEU、アジア諸国との共同研究を進めている。筑波大学大学院客員教授、聖路加国際大学連携大学院教授、国際曝露科学会(ISES)理事。

大矢 幸弘氏

エコチル調査メディカルサポートセンター長
国立成育医療研究センター アレルギーセンター センター長

パネリスト

小児科医でアレルギーが専門。疫学や行動医学を研究と診療に応用している。エコチル調査の質問票や医学的検査の開発を行うメディカルサポートセンターを率いている。名古屋大学医学部卒業、同小児科、国立名古屋病院小児科、国立小児病院アレルギー科、国立成育医療センターの初代アレルギー科医長を経て、現職。